

令和3年度 e-ふらっとと学ぼうを開催します！

令和4年3月11日に第35回「e-ふらっとと学ぼう！」を2年ぶりに開催します。
今年のテーマは、「障がいのある方の就労支援について学ぼう！」と題しまして、以下の内容で開催いたします。

(テーマ)「障がいのある方の就労支援について学ぼう！」

第1部「制度にとられない定着支援の事例について学ぼう！」

第2部「恵庭市内の障がいがある方の就労支援について学ぼう！」

(日時) 令和4年3月11日(金) 15:30~17:30(ZOOMによるWeb開催)

(講師) 第1部 講師 有限会社SANY 代表取締役 柴田進様

第2部 講師 多機能型事業所NOVAS 山田拓司様

講師 株式会社テイクワン 落合信也様



(講演内容)

第1部:札幌でSANY様が実践している就労支援の実際、今後の恵庭市での事業の展望について

第2部:一般就労において就職までの見通しのつけ方と企業開拓、見学実習の調整、定着支援について
また、就労移行支援の2年間の考え方について

今年は、新型コロナウイルスの感染対策として **ZOOMでの開催**といたします。
別途、申込書を送付させていただきますので、年度末で何かとご多忙の時期かと存じますが、皆様のご参加お待ちしております！

農福連携事業に参加してきました 🍆🍅🍆🍅🍆🍅🍆🍅🍆🍅🍆🍅

令和3年8月11日、道央農業振興公社にて行われた農福連携 収穫体験会に参加してきました。
体験会には江別市や千歳市の就労継続支援事業所も参加し、事業所に通所されている利用者さんと一緒にピーマンの収穫を行いました。公社では35グラム以上のピーマンを選んで収穫するのですが、見本として収穫する目安のピーマンが付いたストラップを首から下げ、それと見比べながら収穫しました。畑の中には痛んでいるピーマン、育ちすぎて変色したピーマン、極度に曲がっているピーマンなどもあり、それを取り除きながら出荷できるピーマンを収穫するため、見本があると収穫できるピーマンかどうか判断しやすいなと感じました。
こうした取り組みが、就労支援事業所の農作業受注拡大につながればと思います。



これが見本のピーマン！
ヒモが付いていて、首に
かけることができます



恵庭市理解促進講演会に参加しました

令和3年11月19日 恵庭市市民会館にて「精神障がいの方が地域の一員として、安心して自分らしい暮らしができるために」と題して、第一部ではこころのリハビリ総合支援センター 所長の阿部先生をの講演を聞き、第二部では、千歳地域生活支援センター センター長の奥貫さん、ピアサポーター2名をお招きし、精神障がい者の地域生活支援や社会参加に重要な役割を果たす、ピアサポーターの活動について実際の支援の様子をスライドで見ながらの報告がありました。講演では、精神疾患の症状などに対する理解、支援の考え方、歴史的な背景が印象に残ったこと、ピアサポーターの活動については当事者からの経験談に感銘を受けたこと、ピアサポーターの活動について具体的な支援のイメージを抱くことができました。

精神障がい者が地域で自分らしい生活を続けるためには、関係機関の連携協働のみならず、地域の皆様の障がいへの理解等が大切になってきます。今後も自立支援協議会での活動が、こうした普及啓発活動等に一躍出来たら幸いです。

恵庭市内事業所紹介 ～グループホームヨツバメイツ～ 共同生活援助グループホームヨツバメイツ

今回は昨年10月に新たに開設した、恵庭市初のアパート型グループホーム、ヨツバメイツについてご紹介します。ヨツバメイツとは、「ヨツバ=4つのコンセプト」と「メイツ=仲間」という意味を掛け合わせた言葉であり、入居される方が充実かつ安心した生活を送れるよう、職員が一丸となってサポートすることを目指し、札幌中心とした道央圏や胆振・日高方面などに多くのグループホームを作られています。

恵庭市には昨年、市内初のアパート型のグループホームを中島町にオープン、年明け2月に同じ中島町に2棟目、3月には恵み野地区に3棟目をオープン予定です。

アパートタイプのため、プライベートを大切にしたい方、人と接することが苦手な方、一人暮らしを目指して練習したい方など、相談者から多くのお問い合わせ等頂いております。

365日の食事提供や訪問看護ステーション等も併設しての体調管理や服薬管理、金銭管理等日常の困りごとのサポートなど、自立に向けて頑張っている方の支援の充実に取り組んでいるそうです。

見学・宿泊体験利用も受けつけているそうなので、詳細は下記担当者までご相談ください。



○グループホームヨツバメイツ(共同生活援助)
恵庭市中島町4丁目4-14
TEL080-9183-2224(担当:武井さん)

e-ふらっと 事業実績報告

<学校訪問>

令和3年10月20日、相談支援強化事業の一環として、千歳高等支援学校を訪問しました。

千歳高等支援学校は、旧千歳市立真町中学校の校舎を利用し、平成25年4月に開校した新しい学校です。寄宿舎はないため全員が千歳市内及び石狩・胆振管内から通学しています。1学年定員24名にて生産技術科、環境・流通サポート科の2クラスにて教科学習、作業学習、職業教育、体力づくりなどを行い、1年次から企業や福祉サービス事業所などでの現場実習を経験し、就労に結びつく力を育てています。

対応いただいた館山先生、斎藤先生からは「卒業後3年間は職場定着等の支援を行っていますが、担任や進路指導教諭が転勤となってしまうと生徒も相談しづらく継続的な関わりが難しい」と卒業生を心配されるお話や「福祉的就労等、福祉サービスを利用する場合は、地元の相談

支援事業所にサポートしてもらい流れを作っていきたい」とのお話があり、卒業生の生活支援に関する連携について確認してきました。

